

新潟県 多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業認定制度

Ni-ful 取得促進説明会

働きやすさを見える化し、選ばれる企業に。

— 女性や若者が活躍できる職場づくりを、Ni-fulで次のステップへ —

令和8年6月24日（水） @佐渡

新潟県 / 公益財団法人 新潟県女性財団（Ni-ful認定事務局）



知られなければ、「いい会社」でも選ばれない

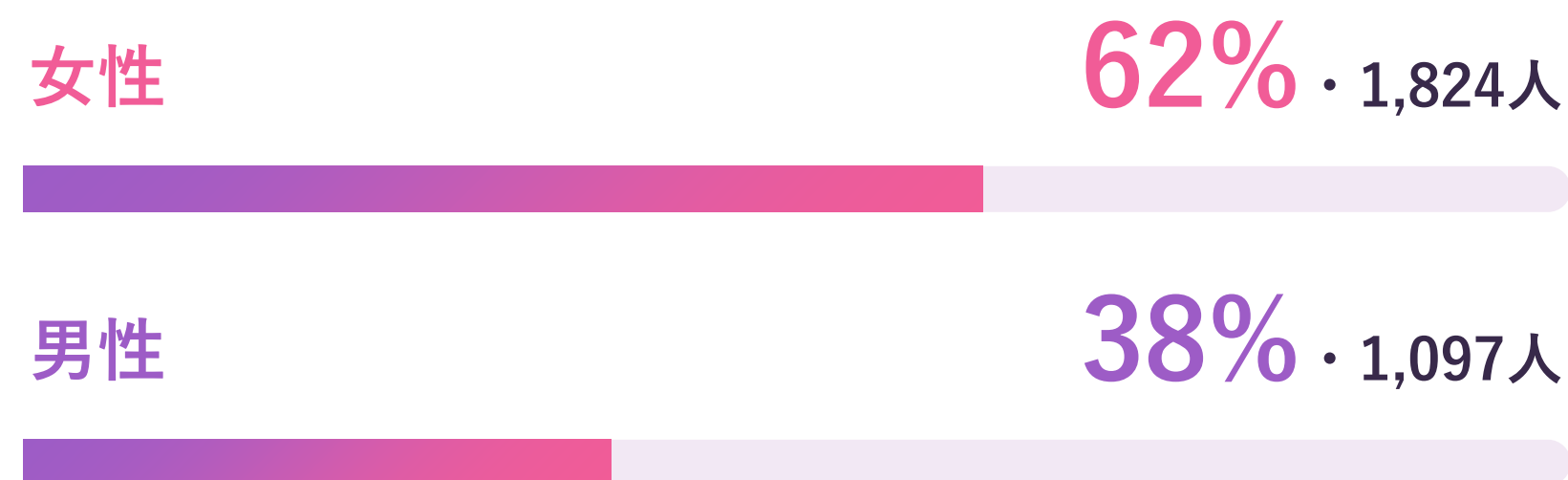
令和7年 転出超過

▲4,291 人

うち 20～24歳（就職期）

▲2,921 人 = 68.1%

20代前半の内訳



転出超過は就職期の若年層が大半。
特に若年女性の割合が高い。

戻りたい4割。でも魅力が届いていない

① 戻る意思はある

首都圏在住の若者の約4割が「働きたい企業があれば戻ってもよい」

38.5%

Uターン意向あり（なし57.3%／未定4.3%）

② "魅力"では選ばれていない

県内在住の本県出身者が県内企業に就職した理由

56.3% 約1割

新潟での生活に慣れている

希望する職種や業種の求人があった

③ "魅力"を見える化すれば、戻りたい4割を呼び戻せる。

— 答えは「見える化」

"働きやすさ"を、県の認定で伝える

すでにある取組を見える化し、採用・PR・信用につなげる入口。



— 本日のゴール

始めやすく、メリットも豊富

だからこそ、ぜひセルフチェックを。

01

始めやすい

基準のうち**3項目**で可。達成状況は申請書が**自動判定**。

02

直接の支援

補助金**上限200万円**、助成金・奨励金 **最大60万円**。

03

信用の見える化

入札参加資格審査（主観点）で**最大20点**。採用・PR・信用に。

本日のゴール お帰りになったら、申請書（様式1）でセルフチェック。

本日の内容

1 企業認定制度の全体像

2 Ni-ful 制度の概要

3 認定のメリット

4 認定基準

5 申請方法

県制度は入口、国の認定にもつながる

制度	実施主体	テーマ	県内の認定・登録数
くるみん	厚労省	両立支援	120社 + プラチナ15社
えるぼし	厚労省	女性活躍	111社 全国5位
ユースエール	厚労省	若者	123社 全国2位
健康経営優良法人	経産省 等	健康経営	472社
にいがた健康経営推進企業	新潟県	健康経営	2,443事業所
Ni-ful	新潟県	両立支援・働き方改革・女性活躍	847社

1 企業認定制度の全体像

国・県の主な認定制度

一 国の認定制度（厚生労働省）



くるみん

子育てサポート企業。3段階＋プラチナ。助成金・公共調達で加点。



えるぼし 県内111社／全国5位

女性活躍推進。3段階＋プラチナ。R8に「えるぼしプラス」新設。



ユースエール 県内123社／全国2位

若者の採用・育成に積極的な中小企業が対象。公共調達で加点。

一 健康経営に関する制度

健康経営優良法人

経産省・日本健康会議

全国約2.7万法人。上位に「ホワイト500」「ブライト500」の冠。



にいがた健康経営 推進企業

県が登録。積極企業を「マスター」認定。

Ni-ful 認定制度とは

どんな制度？

多様で柔軟な働き方の推進や両立支援、女性の登用・育成などに取り組む企業を県が **認定・支援・紹介**する制度。

- ・令和7年度創設・同年10月認定開始。随時受付中。
- ・前身のハッピー・パートナー企業登録制度（約20年運用）は令和7年度末で廃止し、本制度に一本化。

対象・要件

- ✓ 県内に事業所等を有する企業・法人・団体（法人単位。事業所単位での申請は不可）
- ✓ 県外本社も可。規模／業種／男女数は不問（個人事業主は常時雇用する労働者を有する場合に限る）
- ✓ 法令の重大な違反が過去3か年以内でないこと

2つの認定区分

Ni-ful 認定

3 項目以上

認定基準の3項目以上を満たす。

Ni-ful ゴールド認定

6 項目以上

- 認定基準の6項目以上を満たす
- 分類1～3で各1項目以上
- 全ての認定基準の実施状況を記載 + 公表に同意

認定基準項目 常時雇用 101人以上 = 12項目 / 100人以下 = 14項目

2 Ni-ful 制度の概要

認定企業は847社、半数以上がゴールド

847 社

令和8年6月11日時点・県HPで一覧公開中

Ni-ful認定
357 社

ゴールド認定
490 社



令和8年度、15種類へ拡充

15

種類に拡充

補助金・助成金 直接の資金支援

入札

採用・PR 信用の見える化

融資・従業員向け金融商品優遇

国認定への支援 R8拡充

※市町村独自のメリットも別途あります。詳細は県HP「Ni-ful 企業のメリット」参照。

3 認定のメリット

補助金上限200万円、助成金・奨励金最大60万円

女性に魅力ある職場づくり支援事業補助金

200 万円 (1回限り)

ゴールド 上限200万円 (1/2以内) / 通常 上限100万円 (1/3以内)

男性の育児休業
取得促進助成金

ゴールド限定

25 万円 29日以上で+5万円 (1回限り)

妊娠・出産・子育て関連
有給休暇制度利用奨励金

ゴールド限定

30 万円 (1回限り)

※いずれも別要件あり。年度の予算・募集状況によります。詳細は各担当課へ。

認定は「信用の見える化」

入札参加資格審査（主観点）

最大20 点

ゴールド認定 **10点**

+ 女性技術者雇用 **+5点**

+ 子育て関連 有給制度 **+5点**

採用・PR・信用

- ・ ロゴマーク利用
- ・ ハローワーク求人票への記載
- ・ 県HPで企業名を公表
- ・ 専門家派遣／就活イベント選考で
加味

融資・従業員向け金融商品優遇

- ・ 魅力ある職場づくり応援資金
融資限度額 1億円
- ・ 従業員向け金融商品の優遇
学資・マイカーローン等

3 認定のメリット

国認定へのステップアップも県が支援

Ni-ful 認定 → 国認定（えるぼし・くるみん）

えるぼし取得支援

社労士等アドバイザーによる伴走型
支援

無料

くるみん取得支援

社労士等アドバイザーによる伴走型
支援

無料

R8新規

行動計画 策定支援

説明会・個別相談会

R8新規

4 認定基準

必要なのは3項目

すべての項目を満たす必要はありません。

分類 1

仕事と育児の両立

第1～4号

育休取得率・両立支援措置・利用実績

分類 2

働き方改革

第5～8号

働きがい・離職率・労働時間・休日

分類 3

女性活躍

第9～12号

女性の採用・継続就業・管理職比率・
独自の取組

通常認定 12項目（14項目）のうち 3項目以上

ゴールド認定 6項目以上、かつ3分類から各1項目以上

3分類・12項目の基準

分類1 仕事と育児の両立支援

第1号

男性育休取得率 30%以上

第2号

女性育休取得率 75%以上

第3号

両立支援措置を3項目以上導入

第4号

措置の利用実績（男女各1名以上）

分類2 働き方改革

第5号

働きがい向上の取組 1項目以上

第6号

新規学卒者の離職率 20%以下

第7号

時間外・休日労働 月平均30h未満

第8号

年間休日110日／有休取得率70% 等

分類3 女性活躍

第9号

女性の採用（産業平均以上 等）

第10号

女性の継続就業（勤務年数の男女比較等）

第11号

女性管理職比率（産業平均以上 等）

第12号

独自の取組 1項目以上

※常時雇用100人以下は＋第13・14号（行動計画の策定）＝14項目。詳細は「記入の手引き」へ。

5 申請方法

セルフチェックから認定まで



達成状況は申請書（様式1）が自動で判定。提出はExcel形式のまま。

5 申請方法

申請書の記入例（様式1）

様式1

標()関係)

新潟県多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業認定申請書

令和8年6月24日

新潟県知事 様

企業等の名称 株式会社〇〇

代表者職・氏名	代表取締役	〇〇	〇〇
---------	-------	----	----

新潟県多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業認定制度実施要綱第4条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 申請する認定区分

	多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業
○	多様で柔軟な働き方・女性活躍実践企業（ゴールド認定）

2 企業情報

郵便番号	950-0000									
所在地（本社）	佐渡市〇〇1番地1									
ホームページアドレス	https://www.example.co.jp/									
業種	D 建設業									
事業内容	土木工事、建築工事、舗装工事									
常時雇用する労働者数	総数			うち男性			うち女性			
	正社員数	30	人	20	人	10	人			
	非正社員数	2	人	1	人	1	人			
	合計	32	人	21	人	11	人			
担当者	部署名	総務課			職名	総務課長		氏名	〇〇 〇〇	
	Eメール	soumu@example.co.jp				電話	0259-00-0000			

黄色のセルを埋めるだけ

1 必要事項を入力

会社情報や数値を黄色セルに入力するだけ。

2 達成状況は自動で判定

数値を入れると認定基準の達成状況が「○」で自動表示。

3 各項目に「入力のポイント」

入力欄の右側にヒントが表示され、迷わず記入できます。

[illegible]

申請のポイントとよくあるつまずき

申請書の書き方

「**直近事業年度**」＝申請日が属する年度の一つ前の、申請時点で終了している直近の事業年度（和暦）

業種の選択が**第9～11号の産業平均値**に影響

添付書類

添付が必要なのは **達成項目のみ**

第6～11号は添付不要（数値のみで判定）

よくあるつまずき

つまずきやすいポイントへの対応として、申請書の欄外に**入力のポイント**を記載しています。申請の際はご確認ください。

不備があった場合は、事務局から確認のご連絡をします。申請前のご相談も歓迎です。

認定後の流れ

毎年

取組報告

年1回、継続的な取組を確認
(別項目での達成でも可)。



ステップアップ

ゴールド認定へ

Ni-ful認定 → ゴールド認定は、
改めて申請。



その先へ

国認定

取得支援を活用して、えるぼし・
くるみんへ。

※認定基準を2年連続で満たさなくなった場合や虚偽申請等の場合は、認定が取り消されることがあります。

— まずは、はじめの一步

まず様式1でセルフチェック

STEP 1

ダウンロード

「ニーフル」で検索し、県ホームページで様式1をDL。黄色セルに入力。

STEP 2

書類を準備

達成項目の添付書類を準備（就業規則 等）。

STEP 3

メール提出

事務局へメールで提出。提出前のご相談も歓迎します。

「ニーフル」で検索

ニーフル

🔍 検索

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seisaku/hatarakikata-jyosei.html>

お問い合わせ

Ni-ful認定事務局

公益財団法人 新潟県女性財団

TEL 025-285-6610

Mail nintei-jimukyoku@npwf.jp